すくーる ⑱

士別東高

＝士別市

学び直し成長 部活も活発

市立の昼間定時制高校。山や田園に囲まれた校舎で、生徒たちは元気に過ごす。コミュニケーションが苦手で中学まで不登校だった生徒が、十別東高入学後は毎日休まずに通学したこともある。河合宣孝校長は「教員も含め全員が温かいので、生徒は自信をつけて成長していく」と話す。

勉強面の特徴は2008年度に、全道に先駆けて導入した「ベーシックスタディー」だ。授業について行けなくなった時点までさかのぼり、教員が個別に指導する。小学校レベルからやり直し、学ぶ喜びを得て専門学校に進学した生徒もいる。

部活動も活発だ。卓球部やバドミントン部、美術部などがあり、卓球部員は全国大会へ出場することが増えてきた。地域住民との交流も多く、農家の指導を受けて行う田植えや学校菜園での野菜の栽培は伝統行事だ。（阿部浩二）

◇

次回は27日に美深町の美深小を取り上げます。

恒例行事の田植えに取り組んだ生徒たち

美しい山並みを背に建つ校舎

メモ

所在地　士別市上士別町15線南３▽開校　1948年▽生徒数　16人▽卒業生　1238人

校歌〈1番〉

緑なす山なみ晴れてさやかなり吹く風薫る平和を願い真理を求め一すじの道をし行かむ光あまねき母校にわれら